

<p>【技術の名称】 Hyper Lock工法 (HL工法) ー外付け鉄骨耐震補強間接接合部に用いる厚肉鋼管キーおよび鋼棒キーー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-17号 性能証明発効日：2018年12月25日</p> <p>【取得者】 HL耐震補強システム研究会 (代表会社) 株式会社森林経済工学研究所</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造の既存建物に対する外付け鉄骨耐震補強間接接合部に用いる接合技術である。既存建物の柱や柱梁接合部の外壁は撤去して従来のあと施工アンカーを用いるが、梁部分は外壁をそのまま残し、外壁と既存躯体に開けた穴に厚肉鋼管または鋼棒によるキーを挿入した後、既存躯体との間にエポキシ樹脂を充填して、既存躯体と補強鉄骨フレームを接続する。なお、外壁と厚肉鋼管キーまたは鋼棒キーとの間はクッション材により縁切りしている。

【技術開発の趣旨】

従来の外付け鉄骨による耐震補強工事では、あと施工アンカーを直接既存躯体に打ち込み、間接接合部を介して補強鉄骨と接合している。しかし、既存躯体の外側にPC板やALC板などの外壁が存在する場合は、そのまま外壁の外側からあと施工アンカーを用いると、ズレ方向の剛性、耐力が低くなり、事実上設計が不可能となる。そこで、本技術では、従来のあと施工アンカーの代りに高剛性、高耐力の厚肉鋼管 ($\phi 105 \times 20$) または鋼棒 ($\phi 70$) を用いることにより、これらの問題を解決する。

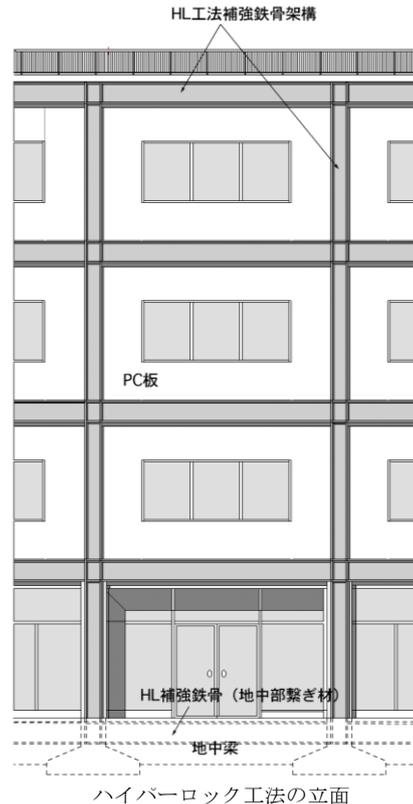
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

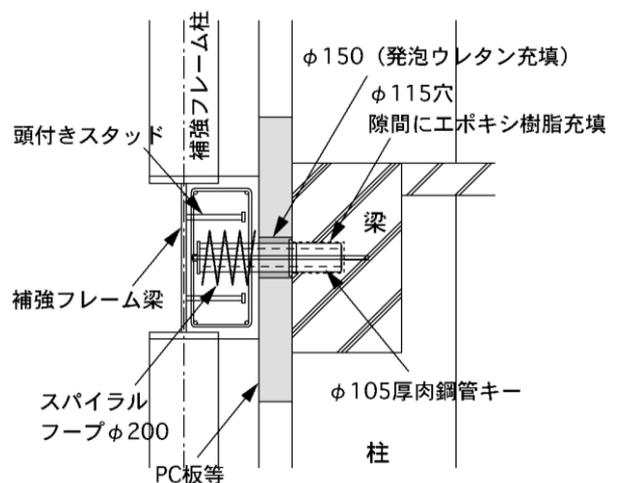
申込者が提案する「Hyper Lock 工法 (HL 工法) 設計・施工指針」に従って設計・施工された厚肉鋼管キーおよび鋼棒キーを用いた外付け鉄骨耐震補強間接接合部は、同指針で定める終局耐力および変形性能を有する。



厚肉鋼管キー ($\phi 105, t=20$)



ハイパーロック工法の立面



ハイパーロック工法の概要

【本技術の問合せ先】

HL耐震補強システム研究会 担当者：今井 克彦
 〒563-0041 大阪府池田市満寿美町7-16

E-mail：karl@shinrin-ken.co.jp

TEL：072-750-2286 FAX：072-750-2265